

臨床実習

[実習] 第2学年 後期 必修 10単位

《担当者名》歯科衛生士専門学校 ○岡橋 智恵、山形 摩紗、大山 静江、千葉 利代

歯学部 長澤 敏行、斎藤 隆史、豊下 祥史、會田 英紀、倉重 圭史、飯島 雅弘、志茂 剛、疋田 一洋、
加藤 幸紀、松田 康裕、榊原さや夏、蓑輪 映里佳、中尾 友也、川西 克弥、村田 幸枝、松木 優子

【概要】

臨床実習は、履修した講義・実習によって習得した基礎的な知識や技術を理論的に整理し、歯科医療の現場において、歯科医師や歯科衛生士の直接的な業務の実践に関わりながら、歯科予防処置、歯科診療補助、保健指導の理解を体系的に深めるための場になります。臨床の場で様々な診療に関わることで処置内容を確認し、器具・器材の準備や取扱いや管理方法、歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導などを体得する。また実習記録の記入をとおして知識を整理する。

【学修目標】

- ・臨床現場での歯科診療の流れを理解する。
- ・実際の治療に沿って器具・器材の準備をする。
- ・口腔内のみに限定されず、患者情報を整理しながら患者観察ができる。
- ・患者様に対し安全で適切な診療補助を提供する。
- ・実習生として患者様や歯科医療スタッフとコミュニケーションを展開する。
- ・正確で適切な実習記録を記入できる。
- ・自分の行った実習を自己評価する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	【実施施設】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道医療大学病院 ・ 北海道医療大学病院 薬剤部 ・ 北海道医療大学 歯科クリニック ・ 北海道医療大学 歯科クリニック（技工室・臨床検査室・中央滅菌材料室） 	
1	臨床実習 オリエンテーション	<p>臨床実習概要について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習期間 ・ 実習場所 ・ 実習グループ ・ 実習ローテーション <p>実習グループによるコミュニケーションを確立する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班長、副班長の選出 ・ グループ内での役割分担 ・ グループでのルールを考える ・ グループでの目標を考える <p>実習概要をシラバスで確認し理解する。 全体目的、学習目標を確認し自分の方向性を把握する。</p> <p>臨床実習帳の配布と確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出欠 ・ 誓いのことば ・ 臨床実習の意義 ・ 段階的目標 <p>実習上の注意事項について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出欠席 ・ 身だしなみ ・ 提出物 ・ 登校日の学校提出物 ・ 守秘義務 ・ 補習について ・ 実習中の事故対応について ・ 臨床実習 ローテーション ・ 臨床実習 の指導體制 ・ 集合時間と場所 ・ 実習を遅刻・欠席・早退した際の届け出方法 	岡橋 智恵

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
2	臨床実習 刈インターン	臨床実習の意義を理解する。 実習要領を理解する。 ・実習前の事前準備（事前学習、持ち物、感染対策など） ・大学病院、歯科クリニックでの実習内容 ・実習の際の注意事項	岡橋 智恵
3	臨床実習 刈インターン	臨床実習記録作成の意義を理解する。 記入例を確認しながら記録の記載方法、記載内容、記載時の注意事項を理解する。 リンクノートの作成の意義、記載方法、記載内容、記載時の注意事項を理解する。	岡橋 智恵
4	臨床実習 刈インターン	自己評価の記入方法、記載内容を理解する。 臨床実習 の実習評価方法を理解する。 実習の引継ぎ内容とその方法を理解する。	岡橋 智恵
5	臨床実習 刈インターン	大学病院の実習要領を配布プリントで理解する。 歯科クリニックの実習要領を配布プリントと動画を 確認しながら理解する。	岡橋 智恵
6	臨床実習 刈インターン	北海道医療大学病院、歯科クリニックにおける各診療科の実習指導者からの実習説明を聞き内容を理解する。 北海道医療大学病院、歯科クリニック内を見学し集合場所等を確認する。	岡橋 智恵
7 10	歯科医療職間連携実習（CAD/CAM 冠接着実習）	連携実習 歯学部学生や歯科技工士と連携し歯科補綴物の調整から接着までの流れを理解する。 必要な器具器材の準備ができる。 術者の施術に必要な歯科診療補助ができる。 接着性レジンセメントの取扱いができる。 患者指導の内容を理解する。 患者の安全に配慮した行動ができる。	長澤 敏行 會田 英紀 疋田 一洋 川西 克弥 村田 幸枝 松木 優子 山形 摩紗 岡橋 智恵 大山 静江 千葉 利代

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

- ・口頭試問
- ・実習態度
- ・実習記録、課題レポート

以上各実習先の評価と実習終了後のレポート提出を総合し判定する

【教科書】

専門科目関連教本

新人歯科衛生士・デンタルスタッフ ポケットマニュアル

【参考書】

授業計画

臨床実習帳

臨床実習自己評価表

臨床実習プリント等

【学修の準備】

- ・歯科診療における基本的な術式（歯冠修復、歯内療法、歯周治療、補綴治療、口腔外科手術、矯正治療）を復習する。
- ・歯科診療に必要な器具・材料・薬剤を復習する。
- ・事前に配布される臨床実習要領プリント、実習要領動画を確認する。

【実務経験】

長澤 敏行 (歯科医師)、斎藤 隆史 (歯科医師)、豊下 祥史 (歯科医師)、會田 英紀 (歯科医師)、疋田 一洋 (歯科医師)、川西 克弥 (歯科医師)、村田 幸枝 (歯科医師)、松木 優子 (歯科医師)
山形 摩紗 (歯科衛生士)、岡橋 智恵 (歯科衛生士)、大山 静江 (歯科衛生士)、千葉 利代 (歯科衛生士)

【実務経験を活かした教育内容】

臨床での経験を活かし、病院実習の要領、注意事項、実習記録の記入方法、患者対応について講義する。